

関係者各位

「科学者倫理研究会」
座長：河合孝尚

第 6 回「科学者倫理研究会」開催のご案内

この度、研究公正に関する第 6 回「科学者倫理研究会」を開催致します。
ご多忙のところとは存じますが、ぜひご出席いただけますようお願い申し上げます。

記

【科学者倫理研究会について】

『科学者倫理研究会（旧称：科学者の不正行動に関する研究会）』は、科学者倫理/研究公正について考えあうことを目的として、各研究分野の研究者の有志で立ち上げた研究会です。2016 年に第 1 回研究会を開催し、今回で 6 回目の開催となります。これまで科学者倫理について興味・関心を持つ各研究分野の研究者、URA 等の大学実務者、官公庁関係者、民間企業の方など産学官の多くの方々に御参加いただき、幅広い視点で活発な議論を行っています。

今回は、前半に捕食学術問題（いわゆる「ハゲタカ問題」）に関する講演及び意見交換を行います。はじめに東京大学の野上識先生より捕食学術問題に関する基礎知識について御講演いただきます。その後、捕食学術問題について参加者を含めた意見交換を行う予定です。昨今、インターネットを利用して査読を経た学術論文に無料でアクセスでき、二次利用できるオープンアクセス出版が急速に広がりつつあります。研究者等は捕食学術誌（ハゲタカジャーナル）に載った論文は、実際の内容の良し悪しに関わらず読者から疑いの目で見られてしまい、またそれを自分の研究業績として載せることがマイナスに働くことを知っておく必要があります。

後半は、いくつかの研究公正に関する研究報告を行います。河合（長崎大学）からは AMED の研究公正高度化モデル開発支援事業で行った医療分野における研究不正行為に関する意識調査についての研究報告を行います。本研究で医療系の研究者を対象に研究不正行為の経験についてアンケートを行ったところ、全体回答数の約 75%が QRP もしくは FFP を行った経験があると回答しており、早急な対応が求められると考えられます。後半では、このような研究不正防止対策等について産学官の視点から意見交換できればと考えています。

本研究会にご参加いただいた皆様には、本研究会で得た知識や情報等を自らの組織で活用していただき、更なる公正な研究活動の推進、健全な科学の発展等に寄与していただけることを切に願っています。

- 日時：令和元年 8 月 26 日（月） 13：30 ～ 17：30
- 場所：TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター カンファレンスルーム 315
（東京都中央区八重洲 1 丁目 2-16）
- 参加費：無料
- 参加定員：50 名

[申込方法]

申込先 URL（科学者倫理研究会ホームページ）の「お申し込み」から入力をお願いします。

※「氏名」「ご所属」「役職」「連絡先（E-mail アドレス、電話番号）」を御入力下さい。

[申込期限] 令和元年 8 月 23 日（金）まで（定員になり次第締め切ります。）

[申込先 URL] <http://www.rmd.nagasaki-u.ac.jp/kawailab/rinri/>

■ プログラム

13:30 - 開会挨拶：「本研究会の開催にあたって」：河合 孝尚（長崎大学）

【 前半： 講 演 】

★テーマ：捕食学術問題（ハゲタカ問題）について

【講 演】 13:33 - 14:30 「学術の信頼性を損なう捕食学術誌・捕食カンファレンス問題」

：野上 識（東京大学）

14:30 - 15:00 意見交換

～ 休憩（15分） ～

【 後半： 研 究 報 告 】

15:15 - 16:00 「医療分野における研究不正行為に関する意識調査報告」

：河合 孝尚（長崎大学）

16:00 - 16:30 「医学系研究に携わった医療者のもやもや体験～Web 調査の自由記載から」

：中田 亜希子（東邦大学）

16:30 - 17:00 「研究公正教育は何を目指すべきか ―「福利」の導入と研究公正―」

：岡林 浩嗣（筑波大学）

17:00 - 17:25 質疑応答 & 意見交換

【講 評】 17:25 - 17:30